

次代を育む母子健康手帳 ～利用者の視点から～

大分県福祉保健部健康対策課
藤内 修二

利用者の視点からの調査研究(H21年度)

- ・ 研究会議での議論，都道府県の「一押しの母子健康手帳」の分析，先進事例のヒアリングから，今後の母子健康手帳に期待される6つの機能を抽出
 - ①妊娠・出産と子どもの成長・発達についての医学的な記録
 - ②妊娠・出産と子どもの成長・発達についての個人的な記録
 - ③母親と保健医療従事者と対話のツール
 - ④妊娠・出産や子育て支援のための情報提供媒体
 - ⑤父親の育児参加を促すツール
 - ⑥次代の親を育むツール

利用者の視点からの調査研究(H21年度)

- ・ 母子健康手帳の利用者に対し，活用状況や今後の新たな機能への期待についての意識調査を実施
 - ①全国9自治体の子育て中の母親 1,101人
 - ②全国市区町村の保健師と栄養士 1/3を抽出
 - ③4県(神奈川県, 岡山県, 福岡県, 大分県)の産婦人科医会会員 444名
 - ④4地域(横浜市, 岡山県, 福岡地区, 大分県)の小児科医会会員 445名
 - ⑤全国小児歯科開業医会会員 346名

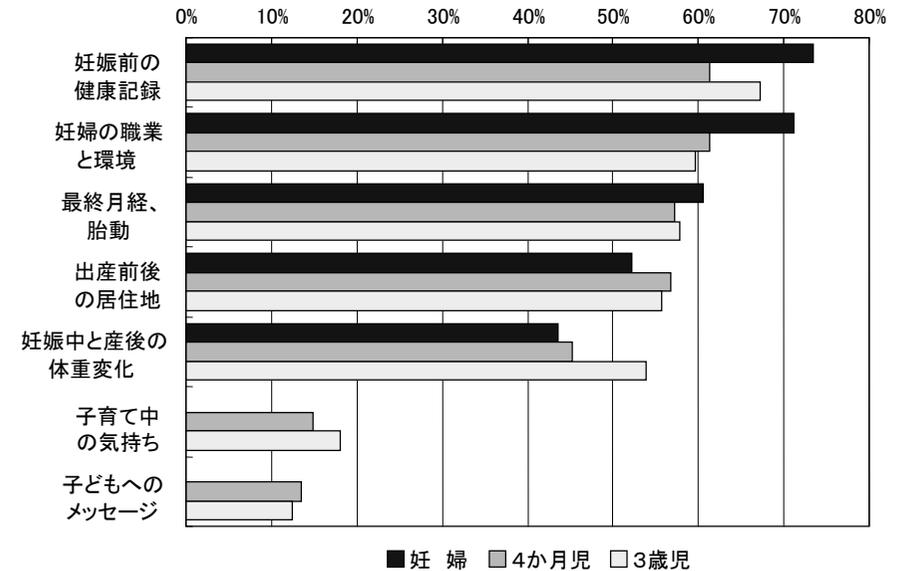
利用者の視点からの調査研究(H22年度)

- ・ 平成21年度の研究成果に基づいて作成した改定案について，4県(神奈川県, 岡山県, 福岡県, 大分県)の産婦人科医会会員437名と4地域(横浜市, 岡山県福岡地区, 大分県)の小児科医会会員425名を対象に，その是非について調査。
 - 産婦人科医153名(回収率35.0%)
 - 小児科医143名(回収率33.6%)から回答
- ・ HIS研究会に所属する全国の産科医療施設(30施設)に通院する妊婦(1施設あたり20名)について，外来において自記式調査を行い，改定案について，その是非を調査。
 - 19施設378名の妊婦から回答

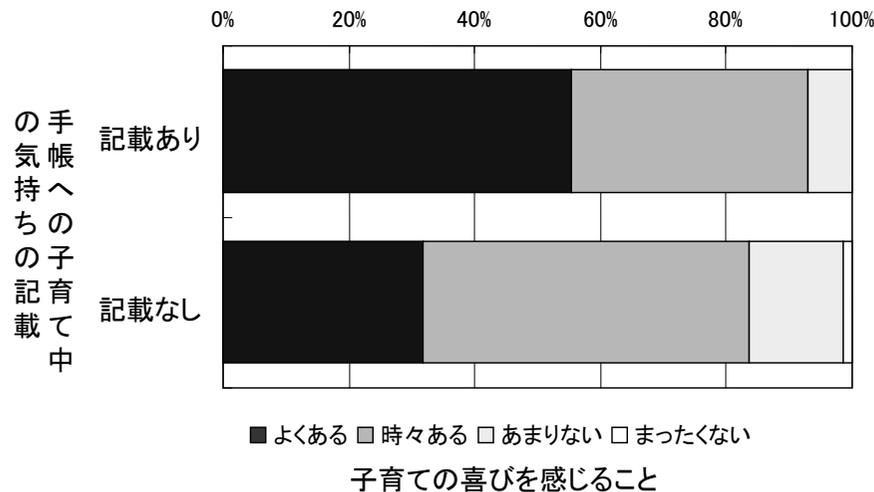
1. 医学的な記録

- 産婦人科医の半数以上が検査結果記載欄の追加が必要であると回答していた妊婦健診項目
C型肝炎, 風疹抗体価, HIV抗体, 子宮頸癌検診
不規則抗体, B群溶連菌検査, NST
- 手帳への結果の記載により, 親子に不利益をもたらすため, HIVやC型肝炎等の感染症検査については配慮が必要
産婦人科医の79.8%は結果の記載が不要と回答
- 転医に伴い, 検査結果の記録が必要という意見も
感染症の結果など, 陽性の場合, 本人の了解を得たうえで, 記載する方法も

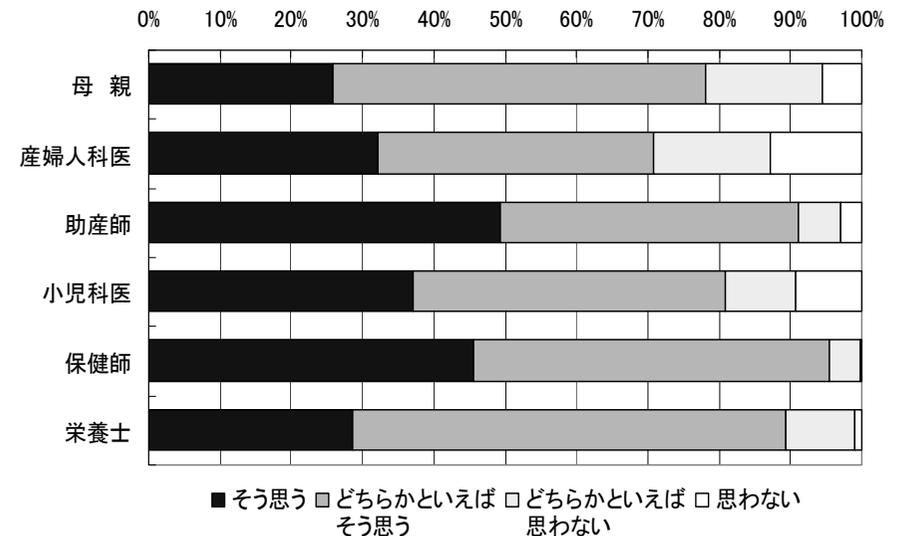
2. 個人的な記録の記載状況



手帳への子育て中の気持ちの記載と子育ての喜び



妊娠中の気持ちや身体の変化の記載欄があった方がいいか？



3. 対話のツール

- ・ 妊婦健診や乳幼児健診の際に、医師や助産師、保健師等に聞きたいことを記入したことがある母親は35.4%であり、そのことについて実際に相談することができたのは89.9%であった。
- ・ 乳幼児健康診査の際に保護者の記録欄の自由記載を参考にして診察や保健指導を行っているのは、小児科医で93.2%、保健師で92.3%、栄養士で69.7%、歯科医師で81.4%、歯科衛生士で77.0%であった。

← 保護者の記録欄と健診結果記載欄が見開き

妊娠中の経過 (1) (現行)

診療月日	妊娠週数	子宮底長	腹囲	血圧	浮腫	尿蛋白	尿糖	その他、特に行った検査(含むヘモグロビン)	体重	医師の特記事項(安静・休業など)	施設名又は担当者名
		cm		/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
				/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
				/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
				/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
				/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
				/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
				/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
				/	- + ++	- + ++	- + ++		kg		
梅毒血清反応	年 月 日 実施			血液型検査		年 月 日 実施		ABO Rh			
B型肝炎抗原検査	年 月 日 実施			妊婦自身の記録 ○赤ちゃん誕生を迎える両親の気持ちを記入しておきましょう。 また、心配なこと、相談したいことなども記入しておきましょう							
妊婦自身の記録											
最終月経開始日	年 月 日										
この妊娠の初診日	年 月 日										
胎動を感じた日	年 月 日										
分娩予定日	年 月 日										

妊婦自身の記録

お母さんの体調や感じたこと、赤ちゃんへの思い等を書き留めておきましょう

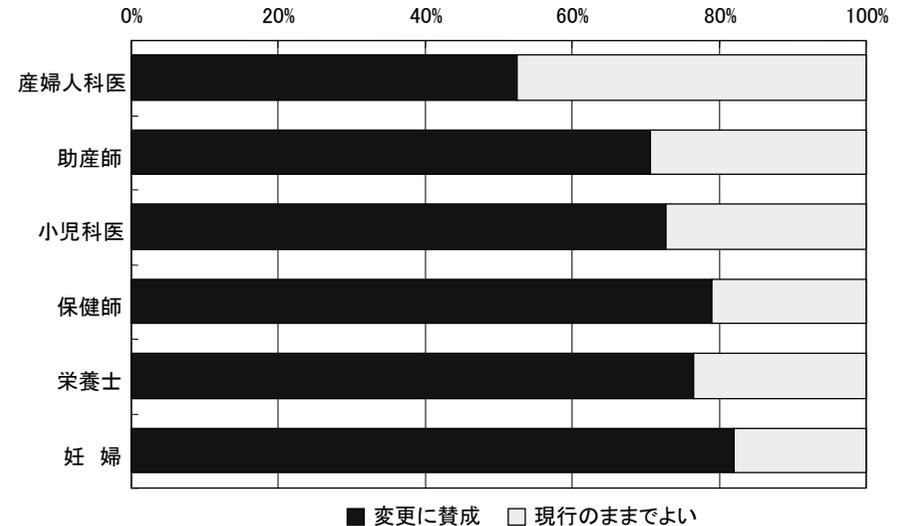
妊婦第3か月			
妊娠8週	妊娠9週	妊娠10週	妊娠11週
月 日 ~	月 日 ~	月 日 ~	月 日 ~
各週の始まりの日を記入しましょう (医療機関で確認して記入しましょう)。 ※妊娠がわかった時のお父さん、お母さんの気持ちを書き留めておきましょう。			
妊婦第4か月			
妊娠12週	妊娠13週	妊娠14週	妊娠15週
月 日 ~	月 日 ~	月 日 ~	月 日 ~
つわりは、多くの場合、4か月の終わりには改善します。 ※妊婦健康診査の際に、聞きたいことや伝えたいことを書いておきましょう。			
妊婦第5か月			
妊娠16週	妊娠17週	妊娠18週	妊娠19週
月 日 ~	月 日 ~	月 日 ~	月 日 ~
里帰り出産を予定している場合は、主治医や家族と話し合い、準備をしましょう。 ※初めて胎動を感じた時のお父さん、お母さんの気持ちを書き留めておきましょう。			
最終月経開始日	年 月 日	胎動を感じた日	年 月 日
この妊娠の初診日	年 月 日	分娩予定日	年 月 日

妊娠中の経過

定期的に健診を受けましょう この時期は4週間に1回の健診が標準的です。

診察年月日	/	/	/	/	/
妊娠週数					
子宮底長	cm	cm	cm	cm	cm
腹 囲	cm	cm	cm	cm	cm
体 重	kg	kg	kg	kg	kg
血 圧	/	/	/	/	/
浮 腫	- + ++	- + ++	- + ++	- + ++	- + ++
尿蛋白	- + ++	- + ++	- + ++	- + ++	- + ++
尿 糖	- + ++	- + ++	- + ++	- + ++	- + ++
検査結果					
医師の特記指示事項					
施設名担当者名					
血液型	年 月 日 実施	ABO 型	Rh		
検査項目	検査年月日	結果及び備考			
不規則抗体	年 月 日				
風疹ウイルス抗体	年 月 日				
子宮がん検診	年 月 日				
梅毒血清反応	年 月 日				
HBs抗原	年 月 日				
HCV抗体	年 月 日				
HIV抗体	年 月 日				
HTLV-I抗体	年 月 日				

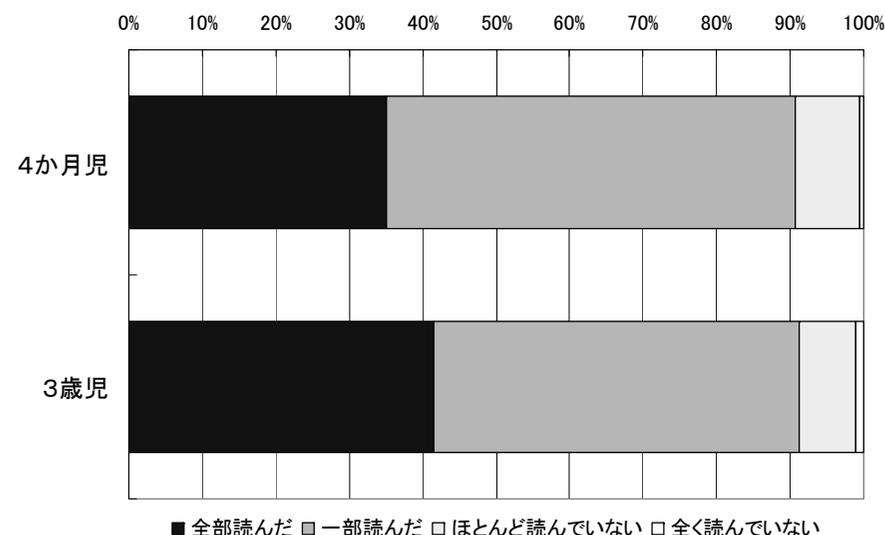
「妊婦自身の記録」と妊婦健診結果が見開きで記載できるように変更することへの意向



妊娠中の記録のレイアウト変更について

- 妊婦自身の記録と妊婦健診結果を見開きにより、従来の4ページから8ページへの拡充
61.4%の産婦人科医が賛成
ページ数が増えることに対する抵抗感も根強い
- 4期(①第5か月まで, ②第6・7か月, ③第8・9か月, ④第10か月)の分け方について
81.0%の産婦人科医が賛成
- 全体的なレイアウトについて
83.7%の産婦人科医が賛成
これまで妊婦健診結果は上から下に時系列に並んでいたが、左から右へと変更されることについて、抵抗感を示す産科医もいる

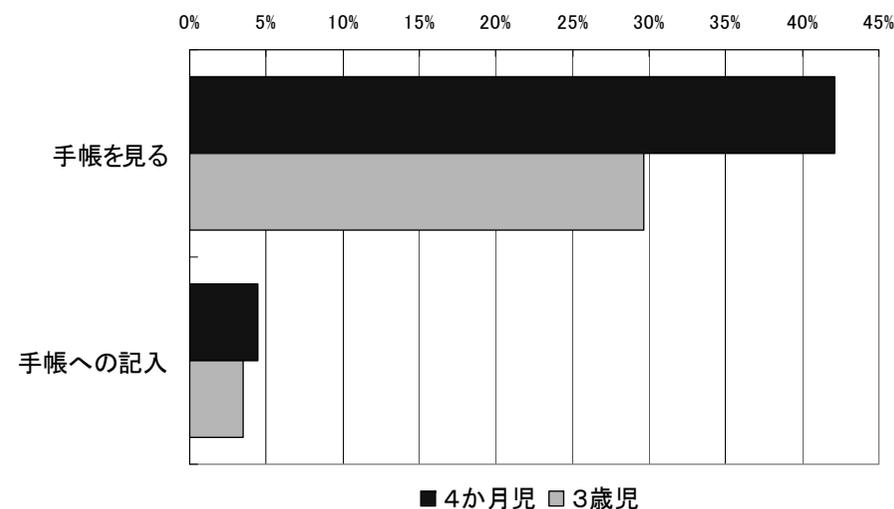
4. 母子健康手帳に書かれた妊娠・出産や育児についての解説の既読状況



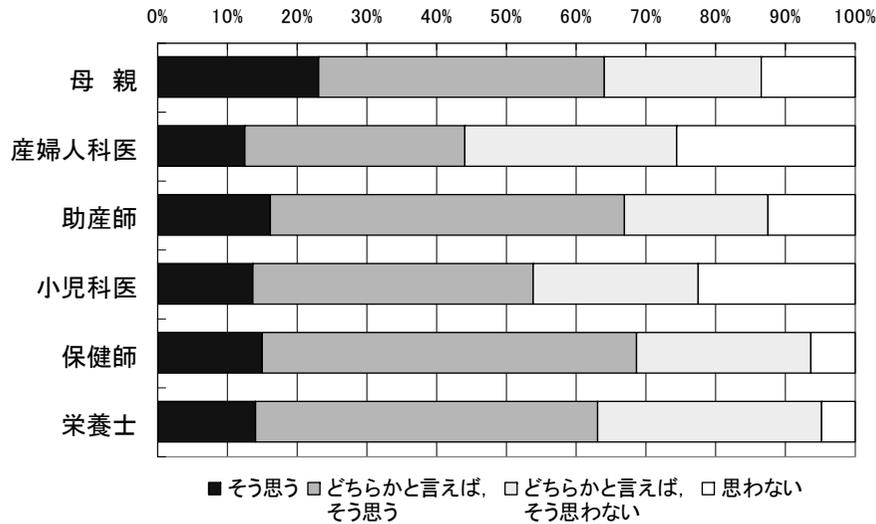
母親に解説欄を確実に読んでもらうために

- 現行の母子健康手帳は、健診結果などを記載する省令様式分(1~49ページ)と、「すこやかな妊娠と出産のために」「妊娠中と産後の食事」等の解説が記載された任意記載分(50ページ以降)に二分
- これらを混在させることにより、必要な記載をタイムリーに読んでもらい易くすることができるが、健診担当医師にとっては、自治体によって健診結果を記載するページがまちまちになってしまう。
- 省令様式分と任意記載分の混在について
産婦人科医の54.2%, 小児科医の61.5%が賛成
混在させるだけでなく、妊婦や母親が読みたくするような工夫も必要という指摘も

5. 父親による母子健康手帳の活用状況



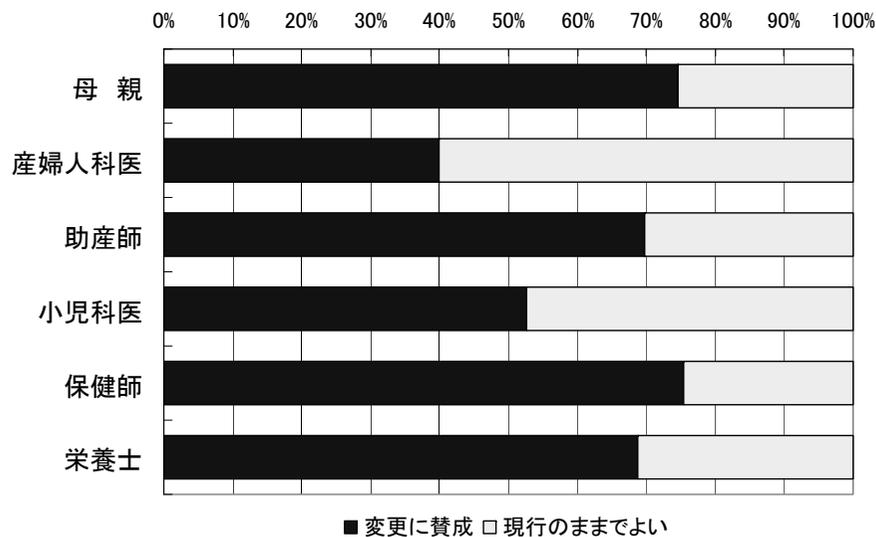
手帳に父親も記載する欄を作ることで、 父親が育児に積極的になると思うか？



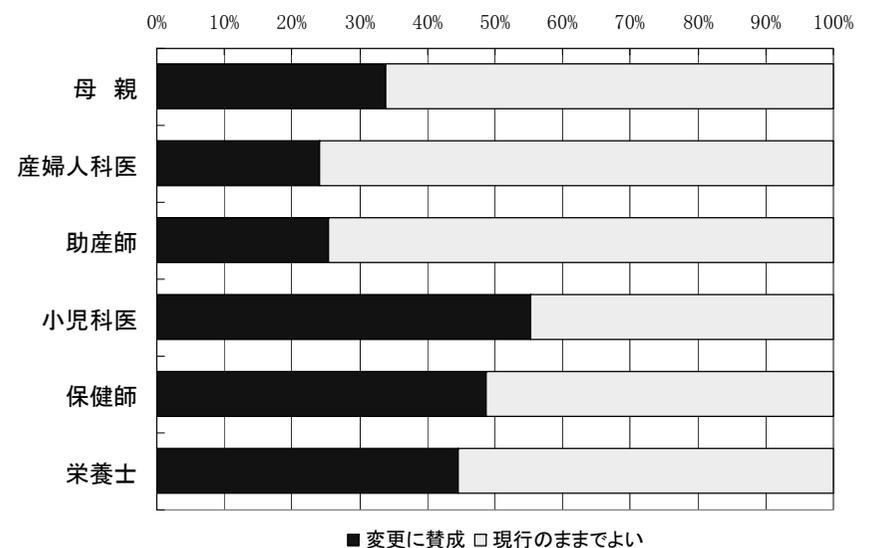
父親へのメッセージ

- 母子健康手帳に、「お父さんになる方へ」等と題した解説(妊娠中の夫の役割、出産前後の父親の役割など)を追加することについて
産婦人科医の73.2%が賛成
小児科医の83.9%が賛成
- 「父子手帳」のように別冊を作成して渡す方がよいという意見もあった
- シングルマザーへの配慮が必要という意見も

折々に「お父さん・お母さんからのメッセージ」 欄を設けることについての意向



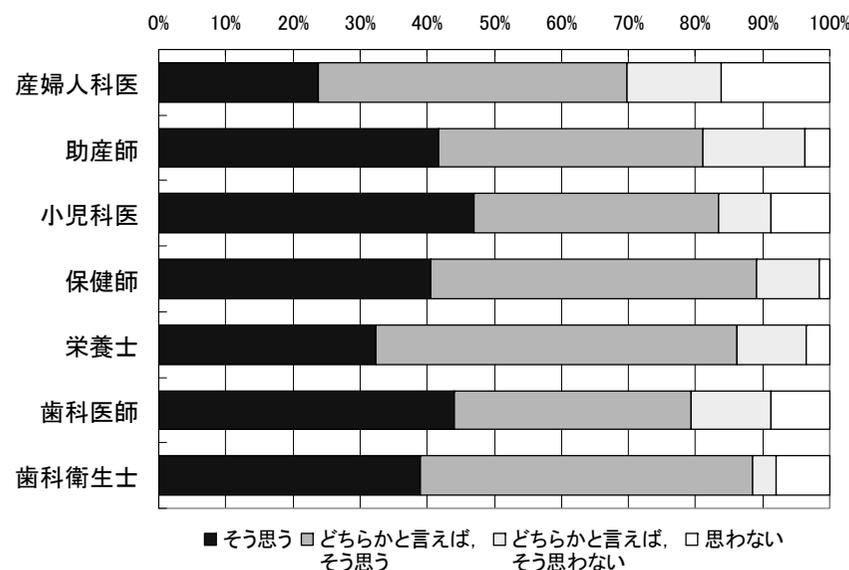
6. 18歳までの成長(身長, 体重, 成長曲線など) の記録ができるようにする変更についての意向



就学後の健康記録について

- 記載する項目は、身長、体重、視力、むし歯本数
82.5%の小児科医が賛成
視力はABCD判定のところもある
むし歯の本数を保護者が記入できるか？
未処置歯の数のみの記録でよいのではないか
- 備考欄を設けて、傷病の記録ができるようにする
- 成長曲線をプロットできるようにする
- 発育の様子についての親の感想欄を設けること
62.2%の小児科医が賛成

成人したら、母子手帳を子どもにプレゼントすることが、次代の親を育むことになると思うか？



今後の母子健康手帳の改訂に向けて

- ①妊娠中の妊婦自身による記載を促して母性を育むとともに、産科医や助産師との対話を促進するため、「妊婦自身の記録」と妊婦健康診査結果の記載欄を見開きにし、「妊娠中の経過」を現行の4ページから8ページに拡充する
- ②妊婦健診の検査項目の充実に伴い、検査結果記載欄を拡充するとともに、感染症の検査結果が陽性の場合、妊婦の理解を得て記載することも検討する。
- ③予防接種の記録欄に、インフルエンザ菌b型、小児用肺炎球菌、子宮頸がんワクチンの記載欄を追加するとともに、DTトキソイド、日本脳炎2期、日本脳炎3期についても記載欄を設ける。

今後の母子健康手帳の改訂に向けて

- ④妊婦や母親に必要な解説を確実に読んでもらうために、省令様式分と任意記載分を混在させる
- ⑤健診結果の記載が円滑にできるように、手帳にインデックスをつける、紙の色を変えるといった工夫を
- ⑥任意記載分として、「お父さんになる方へ」と題した解説(妊娠中の夫の役割、出産後の父親の役割など)を追加する。
- ⑦任意記載分として、「就学以降の成長の記録」及び18歳までの標準身体発育曲線を追加する。